

氏名	上 田 暢 男
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1140 号
学位授与の日付	昭和55年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	血清 I g E に関する臨床的研究 第 1 編 気管支喘息患者の血清 I g E に関する研究 第 2 編 非アトピー性疾患患者の血清 I g E に関する研究
論文審査委員	教授 大藤 眞 教授 長島 秀夫 教授 佐伯 清美

学位論文内容の要旨

第1編では複雑な発症機序をもつ気管支喘息に対し、発病年齢、病型、季節性、血球動態等と血清 I g E との関係、減感作療法における血清 I g E 値および特異的 I g E 抗体の変動、更に各種治療法、特に免疫抑制療法の際の血清 I g E の経時的変動等について臨床的検討を行い、I g E に mediate される I 型アレルギー反応と血清 I g E 値との密接な関係は認められたが、I g E の面からは説明し得ない病態も指摘され、気管支喘息に対する I g E の役割ならびに関与の限界について述べた。

第2編では非アトピー性疾患で血清 I g E 値が高値を示す Hodgkin 病を中心に悪性瘍と血清 I g E 値、および T 細胞機能と密接な関係を有する増殖型胸腺を伴った重症筋無力症患者の胸腺摘出後の血清 I g E 値の変動を検討し、I g E 産生調節機構に関する臨床的検討を行い、高 I g E 血症と T 細胞機能不全との間の密接な関係が推察された。

論文審査の結果の要旨

本研究は血清 I g E について臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった I g E とアトピー性ならびに非アトピー性疾患との関係について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。